

ひおき

vol.77

2011. 9

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

主な記事

特集：日置市夏の交流事業2011	2
日置市防災訓練	6
行政インフォメーション	8
まちの話題	12
市民の広場	19



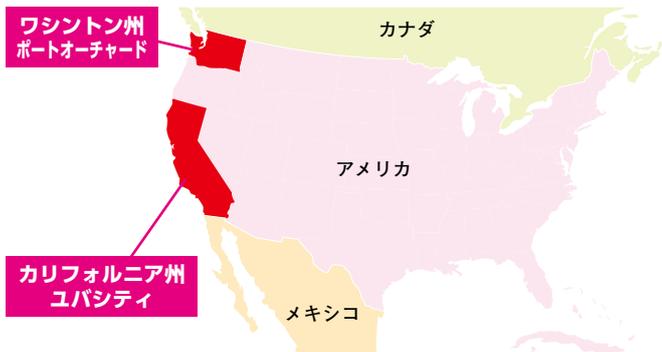
皆さんは日置市夏の交流事業をご存知でしょうか？

日置の子どもたちが日本中、世界中に羽ばたいています！

日置市 夏の交流事業 2011

日置市では海外留学、国際交流、歴史めぐりとさまざまな活動を毎年行っています。
今年の参加者の体験談をご紹介します。

留学してみたい！子どもに経験させたい！→P 3へGO！
さまざまな人と交流してみたい！→P 4へGO！
郷土の歴史と兄弟都市の歴史を知りたい！→P 5へGO！



青年海外派遣事業



一カ月間のホームステイにより、海外の方と触れ合うことで、日本人としての自分を見つめ直す良い経験ができました。派遣生は、アメリカでの生活体験を経て、心身ともに一回り大きくなって帰国しました。

日置市青年海外派遣事業は、語学研修、異文化の学習等を通して、自立心の向上および幅広い視野と国際感覚を培い、次代を担う個性豊かでたくましい青少年の人材育成を図ることを目的に実施しています。

今年は、中学生二人、高校生四人を派遣しました。高校生は、七月二十二日から八月二十日までアメリカ合衆国カリフォルニア州ユバシティ、中学生は、七月二十七日から八月二十五日までアメリカ合衆国ワシントン州ポートオーチャードで、語学や文化について学びました。



参加者の声 PARTICIPANT'S VOICE



伊集院高等学校 1年
とく ども さ ら さん
徳 留 紗 良

今年の夏自分が思った以上に成長でき、この事業に参加することができて良かったと心の底から思います。1カ月間、毎日がすごく充実していました。ホストマザーが「Welcome Sala」という紙を持ち、笑顔で抱きしめてくれたこと。発音が違い、言いたいことが伝わらず悔しく辛かったこと。さまざまな思い出が溢れ返ってきます。この1カ月は一生の宝物であり、自分の誇りです。背中を押し、アメリカに行かせてくれた両親、ホストファミリーはじめ事業に関わってくださったみなさんに「ありがとう」。



伊集院高等学校 2年
ひ ら りょう た くん
比 良 竜 太

1カ月間、毎日が刺激的で、毎日が学習でした。その中で3つのカルチャーショックを受けました。1つ目は食文化。2つ目は土地や建築物。3つ目は人々のフレンドリーさ。日本との違いに衝撃を受けました。ホストファミリーとの生活は本当に早く過ぎ、この家族のおかげでアメリカでさまざまな貴重な体験や、生活の文化を学習することができました。アメリカを訪れるきっかけを与えてくれた両親や先生方に感謝の言葉を伝えたいです。この事業が、私の人生の道をさらに広げてくれたと確信しています。

マレーシア親善大使 派遣事業

マレーシアとの友好交流と国際理解を深める目的で実施されている事業。今年で十三年目を迎え、七人（中学生一人、高校生三人、一般三人）の親善大使が、七泊八日の日程でマレーシアへ派遣されました。

早朝出発した親善団は、十一時間かけて首都クアラルンプールに到着。二、四日目には、在マレーシア日本大使館などを訪問し、各家庭で三泊四日のホームステイを体験しました。七日目は、イスラム教徒の断食が始まる日で、少しだけ断食体験をして帰路につきました。



伊集院高等学校 2年

なが た かず ひで
永 田 一 秀 くん

今回、この親善大使派遣事業を通して、人が一歩踏み出す勇気を持てば、少しの間でも大きく成長できるということを感じました。応募した時は不安ばかりでしたが、そこで一歩退くのではなく、一歩踏み出せたからこそ、マレーシアの地で多くの貴重な体験ができました。マレーシアで学んだことを生かして、一歩踏み出す勇気を持ち続け、これからも自分を成長させていきたいです。



チャレンジ いおう島

硫黄島で実施している青少年リーダー研修「チャレンジいおう島」は、毎年七月下旬に三泊四日の日程で行われています。

離島での自然体験や野外活動、異年齢集団による共同生活を体験し、リーダーとしての資質を高めることが目的です。

今年も、初日こそ雨になりましたが、天候に恵まれ、魚釣りや島内巡りなど計画通りに進められました。

食事はすべて自分たちの手作り。最後の夜はキャンプファイヤーで、団員の絆がさらに深まりました。



上市来中学校 2年

おお さこ あつ み
大 迫 淳 美 さん

私は今回初めて「硫黄島」に行きました。最初はみんなと仲良くし、班長としてまとめていけるか心配でした。でも、みんなが話しかけてくれたり、炊飯活動やジャンベ体験などさまざまな活動を通して、打ち解けることができました。きれいにすき通って見えた大浦港の海の色には感動しました。4日間みんなで協力して楽しく過ごすことができ、自分も成長することができたと思います。

第52回 関ヶ原戦跡踏破隊

関ヶ原合戦や木曾三川の宝暦治水工事に尽くした薩摩義士の足跡をたどる第五十二回関ヶ原戦跡踏破隊が、八月三日から四泊五日の日程で行われました。五十二回目となった今年は、妙円寺小学校六年生の隊員六人と指導者四人が参加。郷土の先人の偉業を学びました。

一行は、赤い陣羽織と島津家の家紋が入ったすがすが姿で三日朝、伊集院駅を出発し、昼過ぎには関ヶ原に到着。二日かけて関ヶ原合戦や、宝暦治水工事について学びました。三日目から関ヶ原合戦をの



妙円寺小学校 6年

さか うえ まさ み くん
坂 上 優 美

2年連続で踏破隊に参加しました。学校では学べないことを教えてもらったり、現地の博物館などを見たりしました。困っていた人のために宝暦治水を行ったことを知り、その素晴らしい心を身に付けたいと思いました。踏破では、雨が降っていたため、予定していたルート歩くことができなかったのは残念でしたが、もう一度参加して、昨年参加した時のように踏破したいと思います。



び、島津越えの滋賀県多賀町まで踏破。今年は天候不良などで一部ルートを変更しましたが、全員元気に到着しました。道中では温かいもてなしを受け、子どもたちの大きな励みになりました。



岐阜県大垣市 青少年交流事業

八月四日から八日まで、中学生一名と小学生七名の交流団が岐阜県大垣市を訪問しました。この事業は、本市とフレンドリーシップ・シティ盟約を結ぶ岐阜県大垣市との友好を深めようと隔年で相互に交流団を派遣しているものです。

大垣市では、関ヶ原合戦での島津豊久公の足跡を追いながら歴史を学びました。

一泊二日のホームステイではそれぞれのホストファミリーの子どもたちとあっという間に仲良くなり、まるで兄弟・姉妹のように心に残る交流をしました。



伊集院中学校 3年

いし い ま な さん
石 井 真 奈

私がこの交流事業で一番楽しみにしていたのは、関ヶ原合戦の地を自分の足で踏むことでした。実際に行くと、まるで戦国時代にタイムスリップしたような感動を覚えました。ホームステイでは、最初は少し不安もありましたが、みんな優しくしてくれて楽しく過ごすことができました。今回歴史の説明をくださった先生方やホストファミリーの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。





忘れていませんか

あの日に起こった出来事

～日置市総合防災訓練～

「想像してみてください」

「平成二十三年八月二十八日、薩摩地方で大気の状態が不安定となっている。鹿児島地方気象台は、日置市では降り始めからの雨量は多いところで400^{mm}に達する恐れがあるとして、大雨・洪水警報、土砂災害警戒情報を発表した。一方、鹿児島県吹上浜沖を震源とする強い地震が発生。日置市で震度5強を観測し、鹿児島県西部に津波警報を発表した。また、地震により原子力発電所の事故も心配される」

豪雨により道路の寸断、がけ崩れ、堤防の決壊などへの警戒、地震による家屋倒壊やがけ崩れなどによる要救出現場が発生するとともに、火災が多発、延焼し、多数の負傷者が発生している状況。

避難する時に必要なもの、あなたのとる行動が思い浮かんできませんか。日ごろからの備えと危機管理が、あなたの命、家族の命を救うことになるのです。

災害の恐ろしさ

日置市を大災害が襲うという想定（右記参照）で、八月二十八日、日吉地域で市総合防災訓練を行いました。

忘れもしない三月十一日に日本を襲った東北地方太平洋沖地震。三陸沖深さ24^{km}、マグニチュード9。宮城県北部では震度7を観測しました。東日本大震災による被害状況は、

死者	15,726名
行方不明	4,593名
負傷者	5,719名

にのぼっています（平成二十三年八月二十三日現在。全容把握には至っていない）。八月十五日の警察庁の発表では、検視を終えた遺体のうち、92・5

名の死因が水死となっていました（岩手、宮城、福島三県の13,135人を検視）。

このデータから予想をはるかに超える津波が襲い、数多くの命を奪われたことが分かり、災害の恐ろしさを物語っています。

日吉の危機管理が大切

今回の防災訓練では「情報伝達訓練」と、住民の避難誘導、救出訓練、バケツリレーによる消火訓練などの「実働訓練」に分けて実施されました。

日吉地域の住民も訓練に参加。いざという時に適切な行動がとれるように、それぞれの役割を確認しながら真剣に訓練に取り組んでいました。単なる訓

練で終わらせることのないように、日ごろからの危機管理が大切です。

また、災害が起こる前に、少しでも被害を防ぐ備えをすることも重要です。

今わたしたちが災害に備えてできることはなんでしょうか。

災害に備えて

東日本大震災の時に、店頭から乾電池が消えました。水の買占めが行われたのも記憶に新しいと思います。

自宅に災害時に必要な物が備えられているか、また被害を最小限に防ぐための対策を行っているか、次のチェック項目を参考にこの機会に確認してみましょう。



ヘリによる搬送訓練



負傷者の救護訓練



車両除去訓練



放水訓練



車両からの救出訓練



自衛隊による偵察訓練

皆さまの結果はいかがだったでしょうか。ここに挙げたものはほんの一例ですが、防災意識の高まりから最近では避難セットも数多く販売されています。決して人ごとではない大災害。「少しでもみんなで防災対策について話し合ってみようよ！」その一言が、あなたとあなたの家族の命を救うかもしれません。

- 必要と考えられるもの**
- 飲料水・非常用保存食
 - 携帯ラジオ・懐中電灯・携帯電話・乾電池
 - 衣類(下着など)・スリッパ・防寒グッズ
 - 非常用簡易トイレ
 - マスク・救急セット・薬
 - 非常用ローソク・マッチ
 - 貴重品(身分証明書など)
 - 簡易ガスコンロ・固形燃料
 - 非常用給水袋
- 地震に備えて**
- 家具類が転倒しないように、L字金具などを利用し、壁にしっかりと固定する。
 - ガラスには破片が飛び散らないように、ガラス拡散防止フィルムなどを張る。
 - 食器棚類にはすべり止めを設置し、落下しないようにする。

自主防災組織の設立に向けて

東日本大震災以降、市民の防災意識は高まっています。大規模な災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは、十分な対応ができない可能性があります。このような時、大きな力を発揮し、地域の命や財産を守るには、そこに住む地域の人たちです。

自主防災組織を結成したいが、具体的にどうして良いかわからないときは、組織づくりのアドバイスをしますので、市へお気軽にご相談ください。



地域ぐるみの防災活動

地域自主防災組織設立促進協議会、県および市は、七月三十日、宮脇自治会(伊集院)の自主防災組織結成促進を目的として「土砂災害警戒区域等における地域ぐるみの避難体制検討会」を開催しました。

検討会では、NPO法人鹿児島砂防ボランティア協会や県地域防災アドバイザーによる説明など、自主防災組織の必要性について検討を行いました。

組織の活動

「平常時」

- ・組織の確立・訓練の実施
- ・知識の普及・地域の把握など

「災害時」

- ・情報の収集・避難の誘導
- ・初期消火・給食・給水など



宮脇公民館での検討会の様子

ネット・携帯電話のトラブル多発！

ネット・携帯電話のトラブル対策は万全ですか？

ネット・携帯電話の普及と比例して関連の詐欺・トラブルも増加しています。ネットや携帯電話のトラブルは、だまされたと気づいても相手を特定することが難しく、お金を返してもらったり犯人を捕まえたりすることが非常に困難です。ネットや携帯電話の便利さを享受するということは、同時に自分の身を守るための対策を講じなければいけないということです。



子ども・高齢者にも広がる被害



近年、ネットの利用者は、子どもや高齢者といったこれまであまりネットを利用していなかった世代にも広がりを見せています。

しかし、判断力が低い子どもやITにあまり詳しくない高齢者は、ネット上にはらんする悪意に気づきにくいという問題があります。罠^{わな}にはまってしまったことも分からず、家族が気づいたときには取り返しがつかないほどの被害を受けている・・・ということもあります。

ワンクリック詐欺（ウェブ・メールを利用した詐欺）

例

ネットでいろんなサイトを見ている時にたどり着いた成人向けのページ。「初回は無料で視聴できます」とあるので「入り口」をクリックすると、年齢認証画面が出てきた。「18歳以上」をクリックしたところ、いきなり「入会を受け付けました。期限までに30,000円を振り込んでください」という画面が出てきて・・・



だまされないためのポイント！

- 1 見知らぬ相手にアクセスしない
- 2 画面のクリックは慎重に！
- 3 説明不備のあるサイトの請求は無効
- 4 個人情報を安易に知らせない

消費生活出前講座をご利用ください

1 出前講座とは

消費生活相談窓口には、消費者トラブルや悪質商法に関する相談が数多く寄せられています。市商工観光課では、消費生活に関する「出前講座」を実施し、トラブルに巻き込まれないよう注意を呼びかけています。

賢い消費者になるために、自治会や各種団体、グループなどの会合で、「出前講座」をご活用ください。

2 講座実施日

講座は、土・日・祝日を除く平日の午前9時30分から午後4時までの時間帯に実施します。（夜間または休日等に講座を希望される場合はご相談ください）

3 講座時間

講座の所要時間は、50分から80分程度です。（ご希望に応じて調整できます）

※啓発用DVD・ビデオを併用します。

4 費用

講座の費用は無料です。

5 申し込み

お申し込みは、ご希望の1カ月前までにお願います。他の団体と申し込みが重複する場合は、ご希望の日に講座が実施できない場合があります。

6 お問い合わせ先（申し込み先）

日置市役所 商工観光課

TEL 273-2111（内線1233）

FAX 273-3063

※お気軽にお問い合わせください。

「義援金詐欺」に注意してください！

東日本大震災に関連した詐欺が増加しています！

「少しでも不審に感じたら、すぐに応じずに、最寄りの警察か市消費生活相談窓口（本庁商工観光課内）などに相談しましょう

日置市消費生活相談ホットライン TEL 273-2172

本庁商工観光課 273-2111 東市来支所地域振興課 274-2111

日吉支所地域振興課 292-2111 吹上支所地域振興課 296-2111

※消費生活相談窓口では、土・日・祝日を除き、消費生活相談員が対応します。

～ 地域の声を市政に ～

第4期 日置市地域審議会がスタート

市町村合併してから今年で7年目。4地域ごとに設置している地域審議会は、4期目の委員70人で発足し、第1回合同会が、7月26日に市中央公民館で開催されました。

この地域審議会は、合併に伴う行政区域の広域化により、地域事情や住民の意見が市の施策に反映されにくくなることのないように、合併特例法により設置できる審議会での市の附属機関となります。

委員には、各種団体等からの推薦者、学識経験者や公募委員など各地域20人以内で構成され、任期は2年です。

合同会では、各地域審議会ごとに委嘱状が交付された後、地域審議会の役割、第1次日置市総合計画基本構想(改定)後期基本計画や今年度予算および主要施策の概要、また地域ごとの会長、副会長の選出が行われました。

なお、第4期の各地域審議会委員は次の方々です。



東市来地域審議会委員					
		会長 下茂 孝一 副会長 宮内 光次 (敬称略)			
No.	氏名	所属団体等	No.	氏名	所属団体等
1	平松 昭弘	さつま日置農業協同組合代表	11	松尾 公裕	市体育協会代表
2	宮内 光次	市商工会代表	12	枇榔よし子	生活研究グループ連絡協議会代表
3	秋嶺 健	市観光協会代表	13	久木留秀行	江口漁業協同組合理事代表
4	濱崎 満洋	市自治会連絡協議会代表	14	西菌 俊明	公募委員
5	野崎 楠雄	市民生委員・児童委員協議会代表	15	福元 三郎	公募委員
6	下茂 孝一	市社会福祉協議会代表	16	徳重 榮	学識経験者
7	石神 正明	市高齢者クラブ代表	17	三原 辰子	学識経験者
8	浅井 良一	市身体障害者協会支部代表			
9	草野 勝徳	市PTA連絡会代表			
10	永井 章子	市婦人会連絡協議会代表			

伊集院地域審議会委員					
		会長 大西 早苗 副会長 橋口 修治 (敬称略)			
No.	氏名	所属団体等	No.	氏名	所属団体等
1	重信 忠身	さつま日置農業協同組合代表	11	野崎 新七	市体育協会代表
2	東 実	市商工会代表	12	福永 京子	生活研究グループ連絡協議会代表
3	橋口 修治	市観光協会代表	13	上之園 章	市文化協会代表
4	松元 健二	市自治会連絡協議会代表	14	門松 誠	公募委員
5	田淵川庄次郎	市民生委員・児童委員協議会代表	15	林田 榮次	公募委員
6	佐多 京子	市社会福祉協議会代表	16	石川こずえ	公募委員
7	大西 早苗	市高齢者クラブ代表	17	上村 良佑	学識経験者
8	佐藤 彰矩	市身体障害者協会代表	18	関 慶子	学識経験者
9	東 清剛	市PTA連絡会代表			
10	四元 美紗	市婦人会連絡協議会代表			

日吉地域審議会委員					
		会長 井上 幸一 副会長 下笠 政文 (敬称略)			
No.	氏名	所属団体等	No.	氏名	所属団体等
1	二石 純一	さつま日置農業協同組合代表	11	下笠 政文	市体育協会代表
2	田代 幸次	市商工会代表	12	田畑 和代	生活研究グループ連絡協議会代表
3	松元 政美	市観光協会代表	13	片野坂純子	市文化協会代表
4	今別府利行	市自治会連絡協議会代表	14	加藤 秀義	地域企業代表
5	瀧口ルミ子	市民生委員・児童委員協議会代表	15	正留 武久	学識経験者
6	井上 幸一	市社会福祉協議会代表	16	中原 直美	学識経験者
7	伴野 四朗	市高齢者クラブ代表			
8	山崎 隆三	市身体障害者協会支部代表			
9	山口日出夫	市PTA連絡会代表			
10	谷山 和子	市婦人会連絡協議会代表			

吹上地域審議会委員					
		会長 川原 修 副会長 榊 秀徳 (敬称略)			
No.	氏名	所属団体等	No.	氏名	所属団体等
1	左近充 学	さつま日置農業協同組合代表	11	倉園 一雄	市体育協会代表
2	西 陽三	市商工会代表	12	長野 加代	生活研究グループ連絡協議会代表
3	池田 日道	市観光協会代表	13	宮本 愛子	吹上漁業協同組合代表
4	榊 秀徳	市自治会連絡協議会代表	14	本田 哲郎	公募委員
5	野入 弘良	市民生委員・児童委員協議会代表	15	岩元 和昭	公募委員
6	有馬 澄子	市社会福祉協議会代表	16	馬籠 敦男	公募委員
7	川原 修	市高齢者クラブ代表	17	竹之内 稔	公募委員
8	梅木 高夫	市身体障害者協会支部代表	18	畠中 貞治	学識経験者
9	宇都 哲郎	市PTA連絡会代表	19	中馬 道子	学識経験者
10	福留 律子	市婦人会連絡協議会代表			



温もりあふれる 共生・協働の地域づくり25

と化 館文 民統 公伝 区域の地

郷土芸能から協働芸能へ 地域力の維持・継承のために

私たちの周りには、長年築かれてきた生活様式や文化があります。隣の自治会でさえ異なるものであったり、ずっと共有されてきたものであったりします。

郷土芸能もまた、地域独自の文化として各地で受け継がれてきました。地区公民館では、そんな地域の誇りをつなぎ続ける取り組みも行っています。

日置市では保存会形式を持つ郷土芸能等が50団体程度把握されています。

そのうち、徳重大バラ太鼓踊り、大田太鼓踊り、伊作太鼓踊、妙音十二楽、大牟牟遅神社の流鏝馬は鹿児島県の無形民俗文化財として、伊作田踊りや北山の火振り、八幡太鼓踊りなど16の郷土芸能が日置市の無形民俗文化財として指定されています。

日置市内には、この他にも多くの郷土芸能が伝えられていますが、毎年、奉納や披露されて

いるものから隔年、3年に1回、そして不定期なものまでさまざまです。

過疎・高齢化の進展は、地域の力を弱めていきます。その影響を受けやすい郷土芸能。後継者の減少で、奉納や披露の間隔が広くなり、やがて、途絶えていくものもあります。

広域な保存体制を模索

自治会など小規模の組織では、維持が危惧される郷土芸能

を、より広域な継承体制で支援するために、地区公民館が期待されています。

8月6日、鶴丸地区の鶴丸ふるさと夏まつりで披露された下養母太鼓踊。館長の橋野さんは「地区民の誇るべき文化。後継者不足が深刻化する前に、地区公民館としてもバックアップしたい」と話します。

3年に1回の奉納年となった伊作田地区の伊作田踊りは8月15日。鉦（かね）、太鼓、なぎなた、鉄砲など総勢60人が舞いました。練習から当日の警備に至るまで、地区内の各自治会、小学校、地区公民館などが連携して伝統を支えました。

同じく3年に1回の奉納を果たした永吉太鼓踊。永吉地区公民館では、地区行事の一環として位置づけ、実行委員会を組織。8月21日

の奉納日は地区公民館職員もハッピーをまとい、奔走しました。

6つの保存会が毎年輪番で受け持つ伊作太鼓踊は、和田地区保存会が担当。地

区域で組織された保存会の活動を和田地区公民館が後押し。8月28・29日の両日、勇壮に矢旗をひるがえし、伝統を継承しました。

継承を通して地域再生

明けれど閉ざす雲暗く…妙円寺詣りの道中歌われる「妙円寺詣りの歌」。

伊集院地域ではこの貴重な文化遺産を通じて、青少年に郷土に伝わる伝統文化を理解してもらおうと、夏休みに「妙円寺詣りの歌暗唱大会」を開催します。

この大会は、市教育委員会と子ども会育成会が共催。多くの小中学生が参加できるように地区公民館単位で行われ、館長、支援員、主任も審査員を務めています。



2日間の最後の踊りを見守る関係者（8/29 和田地区）



館長から完唱賞を受け取り笑顔（8/19 妙円寺地区）



子や孫の声援を受け舞う。伝統継承の第一歩（8/15 伊作田地区）

地域の伝統文化を大事にしていくことで、地域に対する誇りが生まれるといわれます。郷土芸能や祭りなどの継承を通して、地域の力を再生することができないものでしょうか。郷土芸能から協働芸能へ。地区公民館は、その新たな受け皿にもなります。



伊作太鼓踊奉納

八月二十八日に伊作太鼓踊が、吹上町湯之浦の南方神社に奉納されました。

歴史ある伝統行事を受け継ぐために、踊り子はもちろん、その家族や地域の関係者が、一体となって取り組んできました。

今回奉納したのは、和田保存会の総勢二十八人で、最高齢は六十九歳。踊り子たちは、一週間前に潮浜参りで身を清め、当日は早朝から準備に取りかかり、二日間わたり市内各地で踊りを披露しました。



北山の火振り

百年以上続くお盆の送り火行事「北山の火振り」が、八月十五日に北山公民館前納骨堂広場（上市来）で行われました。

この「火振り」は、無縁仏供養のために毎年同日に行われます。約十メートルある青竹の先端にくらわれた松明（たいまつ）に火がつけられ、力いっぱい南北に振り、精霊を送ります。

火の粉を散らしながら、夜空いっぱい炎の弧が広がるその光景は、訪れた観客を厳かな雰囲気に包み込みました。



伊作田踊り

八月十五日、伊作田地区（東市来）に古くから伝わる伊作田踊りが三年ぶりに奉納されました。

この踊りは、市の無形民俗文化財に指定されており、旧伊作田城主である伊作田道材の慰霊、豊作祈願などのために行われています。

当日は、天候不良の中の開催となりましたが、六十人の踊り手が、地区内十一カ所で鮮やかな踊りを披露しました。



上

行
催

東市来

吹

統開

永吉太鼓踊奉納

八月二十一日に永吉太鼓踊が、吹上町永吉の久多島神社に奉納されました。

平成十七年の関ヶ原合戦四百年を機に復活し、三年に一度奉納されています。

指導者を中心に中打ちは六月から、平打ちは七月から練習を重ねて当日に臨みました。

前日に潮浜で身を清め、当日は、七時半の久多島神社での奉納を皮切りに、地域内二十七カ所で踊りを披露。三年に一度の奉納とあって、大勢の観客が詰めかけました。

吉利北区太鼓踊り

吉利地区では北区・中区・南区の三地区が、毎年交代で太鼓踊りを披露しています。今年は吉利北区の太鼓踊りが、八月二十日に南方神社と吉利神社に奉納されました。

踊りは三地区で異なり、中区は戦への出陣、南区は戦の最中、そして今回担当の北区は戦の終結を表しています。

残暑が厳しい中、色鮮やかな矢旗を揺らし、太鼓と鉦（かね）の音を響かせながら、施設や公民館などで勇壮な舞を披露しました。

日置諏訪・日置八幡太鼓

八月二十八日、日置諏訪と日置八幡の太鼓踊りが、それぞれ神社で奉納されました。

古い伝統を誇る太鼓踊りは、起源は明らかではありませんが、島津義弘公の時代に武士踊りとして始まったと伝えられています。

軽快な鉦（かね）の音とともに、華やかな衣装で踊る小太鼓の子どもたち。力強い太鼓の音を響かせながら、矢旗を大きくしなせながら踊る大太鼓の人たち。

両者が合わせて奏でる太鼓の音が各地で披露され、観客を魅了しました。



地域経済の発展を目指して

企業立地協定調印式



左から宮路高光市長、白橋大信県商工労働水産部長、植村浩典代表取締役社長



左から宮路高光市長、永用万人代表取締役社長

八月二十三日、市役所で企業立地調印式が行われました。新設企業の「株式会社ユー・エム・アイ」は、素材の切削加工による、半導体、電子部品関連精密機械部品等を製造しています。現在、製造拠点が本社工場一カ所しかなく、自然災害等のリスク対策として製造拠点の分散化を検討。今回、清藤工業団地への新設となりました。代表取締役社長植村浩典氏は「ご縁があり新設できました。ユー・エム・アイを誘致してよかったですと言われるように精進していきたい」と話しました。

「しままプリントシステム株式会社」は、デジタル写真のプリントをすべてウェブ上で行い、独自のソフトウェアを開発し、国内全域を対象に事業を展開。同業種の国内シェアトップです。昨年十月に清藤工業団地で操業を開始。リピーターの増加による需要拡大に対応するため、今回の増設となりました。代表取締役社長永用万人氏は「国内の成長余力はまだあると思う。今後も工場を増設し、日置市の雇用創出と市の発展に貢献していきたい」と話しました。今回の立地協定により、就業の場の創出、活性化はもとより、地域経済発展への貢献が期待されています。

瑞宝双光章を受章

消防団に携わって五十年 西園 徹さん(吹上)

西園徹さんは、昭和三十五年一月に吹上町消防団に入団以来、班長、分団長、团长として貢献され、平成十九年四月からは、日置市消防団長として三年間指揮を執りました。五十年という長い期間、地域住民の生命・財産を守るため貢献。平成十六年には、消防庁長官功労賞、平成二十年には、



消防功労者総務大臣表彰も受賞されました。

黄綬褒章を受章

職人の道、一筋に三十八年 有村 則男さん(吹上)

有村則男さんは、中学卒業後、地元の職業訓練所を経て、鹿兒島市の自動車会社に就職。夜間、高校を卒業後の二十三歳のとき、昭和四十八年に工場を始めました。



平成二十一年には、目標としていた「現代の名工」にも選ばれました。板金、塗装、車体整備など取得した資格は約三十種類。車体整備の指導員や技能検定員も長年務められ、後輩の育成や技術向上への活躍が認められました。

戦いが結ぶ縁

大分市戸次より訪問

七月九日から十日にかけて、大分市戸次(へつぎ)地域の方々四人が永吉地区を訪問。梅天寺跡や、天昌寺跡などの史跡を巡り、永吉南郷会(本田哲郎会長)との交流を行いました。戸次地域では、一五八六年に薩摩藩の九州制覇の一環として、当時佐土原城主であった島津家久軍が、同地域で大友宗麟および応援の連合軍(長四国勢曾我部、十河、仙石一族など)と合戦。この戦いは、「戸次川の戦い」と呼ばれ、島津軍が勝利しています。



この交流は、昨年十一月に永吉南郷会が会員の研修視察で初めて戸次地域を訪問。その際に親切に対応してくださった方々などが、今回、島津義久公の墓参りなど永吉地区に訪問されました。

私たちの想い 被災地へ届け

東市来中生徒会東日本支援マーケット

八月三、四日江口蓬萊館で東市来中学校生徒会が、手作りエコバッグ販売と募金活動を行う「東日本大震災支援マーケット」を開催しました。



「被災地の方々を応援したいという気持ちで、今こそ行動にうつそう」という意味の「move now」を今こそ私たちの手で」をテーマに六種類のエコバッグ、合計三百枚を製作（デザインは全校生徒から募集）。収益金と募金はすべて被災地に寄付されました。

生徒会長の長野圭輝君（三年）は「被災地のために何かやりたかった。僕らの手作りエコバッグの収益が被災者のために少しでも役立つって欲しい」と話していました。



また、隣接する江口浜では、会場を提供してくれた江口蓬萊館に感謝し、生徒会メンバー以外にも大勢の生徒が、清掃活動に取り組みました。

おいしい本場キムチを作ろう

キムチ作り教室

李^リ瀆^{ジュン}京^{ギョン}さんと一緒に本場韓国キムチを作るキムチ作り講座が、八月五日から七日までの三日間、伊集院・東市来・吹上の三地域で行われました。

韓国の代表的な食べ物「キムチ」を作ることで、韓国の食文化に親しんでもらおうと毎年行われています。

四十三人の参加者は、韓国か

ら取り寄せた調味料と地元野菜を使って、本場の香り漂う真っ赤なキムチと見た目にも涼しげな水キムチに挑戦しました。

また、おいしい市販キムチの見分け方や、キムチを使ったレシピ（今回はビビンそうめんを試作）も紹介されるなど、参加者は充実した時間を過ごしました。



楽しいお話の世界へ

夕涼みおはなし会

東市来図書館で七月九日、夕涼みおはなし会」が開催されました。

読み聞かせは、地域のおはなしグループ「カシユカシユ」の会員が、絵本や紙芝居、わらべうた、シアターなどを実演。参加した約百人の親子を楽しいお話の世界に引き込みました。

おはなし会終了後も、図書館が閉館する夜九時まで親子で本を読みあう姿が見られました。



火の扱い、学んで楽しく料理しよう

LPガス親子料理教室・ガスコンロ寄贈

七月三十日、伊作小学校で鹿児島県LPガス協会南薩支部（福田秀史会長）が、親子料理教室を開催しました。

この教室は、子どもたちに火の取り扱いを学んでもらおうと開催されており、日置市では初めての開催。五組十三人の親子が参加して七品を調理しました。

福田会長は「今回使用した最新のガスコンロは、安全性も高く使いやすい。家庭でも一緒に料理してほしい」と話しました。



後日、料理教室で使用したガスコンロと同型の新品が、伊作小学校などに寄贈されました。

ドッジボールで地域のつながりを

妙円寺地区中学生ドッジボール大会

妙円寺地区中学生ドッジボール大会が、八月十三日に妙円寺小学校体育館で行われました。

このドッジボールは、校区に中学生を対象としたイベントがあまりないことから、妙円寺校区育成会が中心となり企画。妙円寺小学校協力のもと毎年開催しています。

子どもたちは、妙円寺地区ごとのチームに分かれ、男子パー
ト十チーム、女子パート六チー

ムが参加。地域の大人が審判をし、子どもたちは点数板の係それぞれが協力して行いました。

子どもたちからは歓声が沸き「このような地区のイベントがあると、友達にも会えて楽しい」との声が聞かれました。

地域と子どもたちが一体となって行われるこのイベント。地域のつながりがまた一つ強くなりました。



一球で決まる勝負の明暗

二ヶ旗旗争奪戦 第十二回南九州小学生選抜ソフトボール選手権大会

八月二十一日、東市来総合運動公園で、二ヶ旗旗争奪南九州小学生選抜ソフトボール選手権大会が開催されました。

この大会は、今年で十二回目



を数え、県内各地区および宮崎県から三十チームが参加。それぞれ優勝を目指し、熱戦を繰り広げました。

突然の大雨と雷で一時中断になるアクシデントもありましたが、約一時間半後、無事に試合再開。どの試合も一点を争う白熱したゲームが続きました。

決勝には、前回準優勝の始良地区の富隈ソフトと日置地区の若鷹ソフトの二チームが勝ちあがり、富隈ソフトが念願の優勝旗を手に入れました。

ゴール目指して一蹴入魂

かめの子サッカー県大会

七月二十三日、二十四日の二日間、かめの子サッカー県大会が、吹上浜公園陸上競技場などで開催されました。

この大会は、小学四年生以下の子どもたちに、試合出場機会を与え、団体活動の中で相互の親睦を深めてもらうと、商工会青年部吹上支部が中心となり、地域のサッカー関係者と協力して行っており、今年で二十三回目。

昨年は口蹄疫の関係で中止になりましたが、今年は早々に定数の六十四チームの参加となりました。

子どもたちは、炎天下にも負けず、ゴール目指して一生懸命ボールを追いかけていました。





みんなでひろげよう！「元気な市民づくり運動」

9月は 健康増進普及月間

「1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ」

～健康寿命を延ばしましょう～

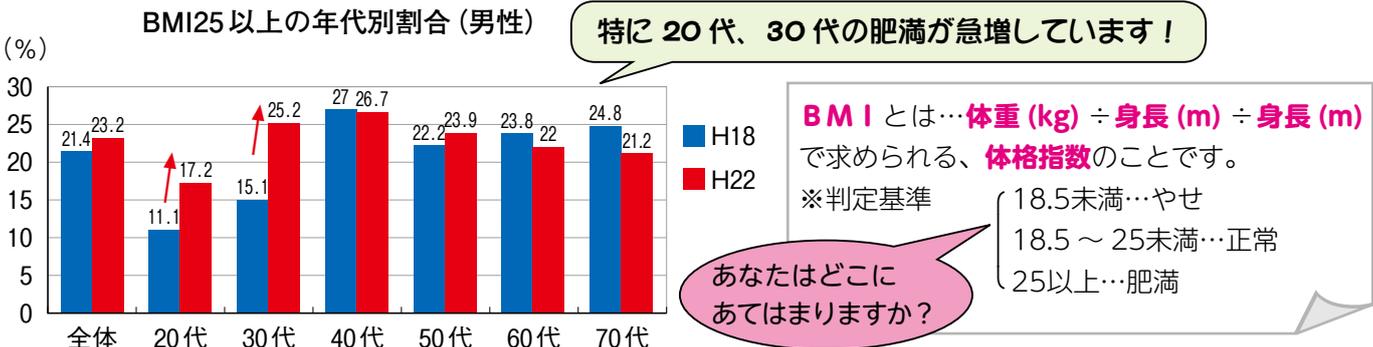


元気な市民づくり運動
イメージキャラクター
梅太郎

年々、平均寿命が延びている一方で、糖尿病、がん、脳卒中などの生活習慣病が増加しています。病気の「早期発見」や「治療」に加え、運動や食事、喫煙習慣などの生活習慣を改善して、生活習慣病を「予防」し、健康寿命を延ばしましょう。

健康寿命とは…平均寿命のうち、認知や寝たきりにならない状態で活動的に暮らせる期間をいいます。

日置市では、市民一人ひとりが「生涯現役で豊かな人生を過ごせるように」と、平成18年度に策定した『元気な市民づくり運動』推進計画の中間評価に伴い、平成22年9月下旬～10月上旬において、20歳～74歳の無作為に抽出した4,258人にご協力いただき、「健康実態調査」を実施いたしました。そこから見てきた現状を一部ご紹介します。



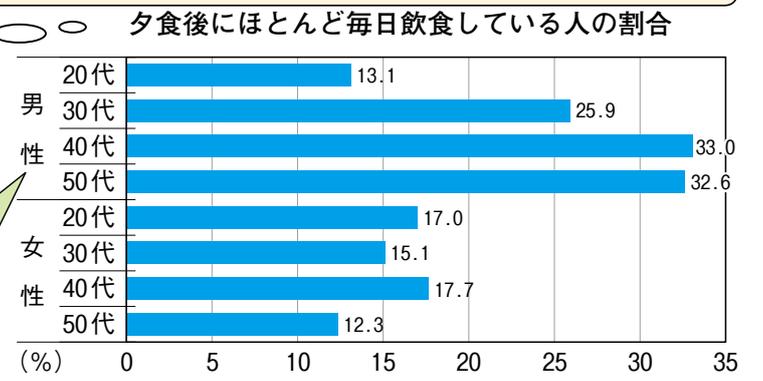
肥満により内臓脂肪が増えると、**脂質異常症**や**糖尿病**、**高血圧**などを発症しやすくなります。

- ☆主食・主菜・副菜をそろえて、ゆっくりよく噛んで食べましょう。
- ☆食べ過ぎや、糖分・脂肪分の摂り過ぎに注意しましょう。
- ☆運動習慣をつけましょう。

エネルギーの収支バランスを意識しましょう！



男性の30～50代では、約3人に1人が夕食後にほとんど毎日飲食しています。



9月は、「食生活改善普及月間」でもあります。日頃の食生活を振り返り、よりよく改善して、生活習慣病の発症や進行を防ぎましょう。



このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときにお申し出ください。



八月受付分(敬称略)

伊集院地域

黒木 詩織 (出生児)	武史 (保護者)	猪鹿倉 (自治会)
春松 優友	健一郎	下神殿三区
吉富 悠仁	貢一	妙円寺六区
福増 将斗	智彦	上土橋
増田 蒼史	浩嗣	瀬戸内
安藤 涼風	将充	飯牟礼下
岡山 愛子	幸祐	麓東
佐藤 羽雲	一浩	郡下
森園 杏奈	剛士	四郎園
中武 賢信	信幸	郡下
山口 夏佳	健児	荒瀬
折田しおん	大二郎	向江町
馬場 稜太	勇樹	朝日ヶ丘
前村 昂	竜治	妙円寺一区
畑山 実花	耕生	下方限

東市来地域

蓑田 京将 (出生児)	弘誠 (保護者)	江口 (自治会)
田丸 想絆	孝志	荻
吉留 歩希	和希	堀内
末山百合姫	龍三	川北
松下 昊雅	誠	田之湯
後沢 夏希	透	田之湯
鮫島 悠那	竜太	田代
外園 惺夏	大和	麓下
長谷川 葵	優	田代
福盛 百花	大輔	田之湯

日吉地域

田島美波海 (出生児)	大輔 (保護者)	帆之港 (自治会)
-------------	----------	-----------

吹上地域

横小路琴乃 (出生児)	哲寿 (保護者)	南宮内 (自治会)
富盛 麻心	維人	西本町
田中 敦葵	憲一	日添
長井 耀大	政和	下田尻
馬場穂奈実	朋成	川中



八月受付分(敬称略)

伊集院地域

田崎ナミコ (故人)	桑畑 (享年)	自治会
四郎園シヅ子	上方限	
宇都 實一	荒瀬	
川田 郁子	妙円寺二区	
佐倉 正識	妙円寺五区	
郷原 光明	寺脇	
宮路 義人	麓東	
有村キヨ子	大田上	
池田ヨシエ	麦生田	
東市来地域 (故人)	今田 廣 (享年)	自治会
東園 エダ	駅前	
山口 光雄	下養母上	
徳重キミヨ	萩	
中村 フミ	梅木	
谷口 カヨ	城之町	
若元ハツエ	上伊作田	
新富 ノブ	城之町	
川畑シヅ子	堀内	
脇田 幼子	神之川	
浅谷ミチエ	大平	
	麓下	

日吉地域

北山 敏吉 (故人)	北山 (享年)	自治会
元山 良満	江口	
大迫 隆	杉之迫	
草原 ナツ	草原	
二石 直美	八幡	
畠中ヨツ子	北区	
大富 薫	北区	
吹上地域 (故人)	下野ケイ子 (享年)	自治会
堀之内スミ子	花熟里	
福添ハマエ	西宮内	
安藤タツミ	上中之里	
安藤 三郎	下田尻	
福添 優	下中之里	
島木 村生	南湯之元	

※訂正とおわび
 広報ひおき8月号の記事中に誤りがありました。
 次のとおり訂正しておわびします。

← P2「日置のあつい夏」
 吹上浜国際サンドアートフェスティバル

← P6「日置市農業委員の紹介」
 国際サンドアートフェスティバル

← P25「自治会名 麦生田下」
 自治会名 麦生田



ギャラリー 私の作品展

『編み物』

しげのぶ 重信 ひさこ 壽子さん (68歳) 吹上町浜田

わが子や自分用に服を手作りしていたことから、編み物、洋裁、手芸と何でもします。公民館講座の講師をするようになって、もう20年余り自主クラブの講師も務めています。その間に色々な事がありましたが、子供や友人からの励ましをパワーに続けてこられました。

現在、講座には50歳代から80歳代まで幅広く参加し、みんな自らデザインして作ったものを自分で着たり、家族にあげたりして、喜んでもらえるのがうれしいです。仲間と一緒にするのも楽しく、指先を使うのは認知症の予防にもなり、これからもマイペースで続けていきたいと思っています。



ウォッチまちの文化財 73

篠原一族の史料群 (吹上地域)

明治維新という日本史の大事件において、小松帯刀や西郷隆盛、大久保利通などの活躍は多くの人々が知っています。その活躍を支えた無名の薩摩の人々がいました。吹上歴史民俗資料館には、このような人々の記録が展示されています。伊作郷（現在の吹上地域南部）の郷土の篠原一族が残した史料群です。

下の写真の古文書はその一部で、篠原政敷が書いた日記です。日記は嘉永7（1854）年2月から書かれたもので、表紙に「浦賀江異国船渡来ニ付上坂被仰付候」と書いてあります。「浦賀江異国船」は、アメリカ軍のペリーの来航を指しています。ペリーの来航で不安定になった国内の情勢の備えと、外国に対する備えのため、大阪へ警備の増強で派遣された際の記録です。

その後も複数の篠原一族が、大阪や京都に派遣され、その際の記録を残しています。彼らは、その後の幕府との戦いや、戊辰戦争に参加します。鹿児島島の城下士だけでなく、日置の郷土達も時代の変革に貢献したのです。



篠原政敷日記 (吹上歴史民俗資料館蔵)

Access



僕は小さい頃から鉄道が大好きで、暇さえあれば車両を見たり、写真を撮ったりしています。車両が通る時のガタンゴトンというジョイント音を聞くと、将来の夢や希望が広がります。

僕の将来の夢は、駅員になることです。駅員の仕事で魅力を感じるのには、電車が出発する時、最後まで見送る動作です。駅員さんは毎日、僕たちが安全に電車に乗れるよう、気を配っています。また、駅を快適に利用できるよう、たくさんの方の仕事をこなしてい

ます。

僕はこの夢を実現するために、努力していることがあります。一つは勉強です。しっかりと勉強しなければ、鉄道会社に就職できないと聞いたことがあるので、がんばっています。もう一つは部活動です。部活動を通して体力を身につけ、忙しい駅員の仕事を確実にこなせるよう、毎日がんばっています。時々、疲れ現ることもありますが、夢を実現するため、これからもこのことと努力していきたいです。



将来の夢

東市来中学校

一年生

内田

誉志くん



鹿児島県日置市

市の人口 (住民基本台帳)

総人口	51,359人 (▲55)
男	24,055人 (▲15)
女	27,304人 (▲40)
世帯数	22,609 (▲17)

9月1日現在 () は前月比

東市来地域	12,420人
伊集院地域	24,619人
日吉地域	5,456人
吹上地域	8,864人

市の面積 253.06km²

今月の表紙



「気持ちを一つに」

災害時には地域住民同士の助け合いが必要。防災訓練の中で住民によるバケツリレー消火訓練が行われました。参加した住民はリズム良く協力しながら水を運んでいました。

「日置市防災訓練」

P6-7 関連記事

No.77 平成23年9月号
2011. 9. 22発行

発行/日置市役所
総務企画部企画課

〒899-2592
日置市伊集院町第一丁目100番地

TEL 099 (273) 2111
FAX 099 (273) 3063

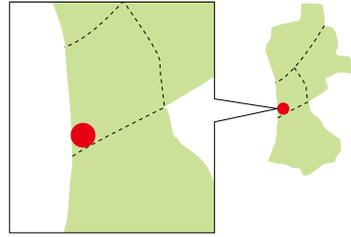
東市来支所
TEL 099 (274) 2111

日吉支所
TEL 099 (292) 2111

吹上支所
TEL 099 (296) 2111

http://www.city.hioki.kagoshima.jp/

わが地域



吉利公民館 (日吉地域)

日吉地域の南にある吉利地区。吉利小学校内に公民館があります。北区、中区、南区の三自治会からなり、五百二十四世帯、千七百七十四人が暮らします(平成二十三年九月一日現在)。

昔から地域おこしが盛んな地区で、現在もさまざまな伝統芸能が残っています。また日吉を代表する農業地域です。

共生・協働の精神を受け継いできた吉利地区。平成十九年に地区公民館が設立されました。昔からそれぞれの自治会でむらづくり運動が盛んに行われており、現在も産業面をはじめ、活動を引き継いでいます。

公民館活動は、行事や年間の活動計画などを自治会長はじめ、各地区から選ばれた代表で専門部を中心に話し合いを行っています。また、地域情報が行き渡るように、公民館便りを月に一回発行。地域住民に行事予定などをお知らせしています。一番力を入れているイベント



春成道夫館長

吉利公民館 (日吉地域) 地域住民が一心同体になった地域づくりを

は夏祭り。八月二十八日に開催しました。昨年からは始まり、第二回を迎えた今年は、約四百人が参加。地域の方のギター演奏やハーモニカ演奏など新しく企画しました。昔の田植えを再現した北区女性部による寸劇は、地域住民にとっても好評でした。

ほかにも、鬼火焚きや三地区持ち回りで言う太鼓踊りなど、古からの伝統を守りながら活動を行っています。



ステージも大盛況だった夏祭り

これからの公民館運営の目標は、一心同体になった地域づくり。さまざまなイベントを協働意識のもとで行っていくことができるように、公民館が中心となって活動をしていきたいと思っています。また、住民の声が直接反映できる地区振興計画を利用し、地域住民が住みやすい地域づくりを目指していきたいです。



今年は北区が行った太鼓踊り

忘れもしない小学五年生の夏。歯を食いしばり、父親をはじめ、たくさんの人に支えられながら約80^分の山道を歩いたのを思い出します。▼何か大事件が!?という書き出しですがそんなことはなく、今回特集した日置市夏の交流事業。その中の「関ヶ原戦跡踏破隊」に十五年前に自分が参加させていたのだ時の一コマです。▼最年少十歳での参加ということ、当時とても緊張したことを今でも思い出します。多くの方々の優しさ、一緒に行った父親の強さ、偉大さ、そして故郷の歴史を知ることができました。他にも、何かをやり遂げた時の達成感、支えあうことの素晴らしさなどなど。とても素敵な宝物を与えてくれました。ちなみに歴史が大好きになり、中学三年生の時に、関ヶ原合戦をテーマに二万字ほどの論文を書きました。▼今回の記事が、学生の皆さん、子どもさん、お孫さんにとって羽ばたいてみようかなと思うきっかけになればなど。どこまでも羽ばたける綺麗な羽を皆持っているのですから。自分にもまだあるといいなあ。(笑)

編集たいむ

